



Second Level Newsletter

OKINAWA REPORT

~VOL 4 ~ August 2012

シャローム！ みなさんに神様からの大いなる祝福があふれて、周りの人に創造主を紹介できますように。約2ヶ月半の伝道旅行はまさに神様のご栄光そのものでした。

6年ぶりの帰国で、多くの日本人がまだ偶像を拝み、創造主を知らないこと、そのため、多くの者が（クリスチャンの中でも）うつ病のような病に長い間冒されていることまた多くのクリスチャンが神様から頂いている特権をあまり理解しておらず、薄く、信仰が育っていないため、教会員が増えず、神様の祝福からもれていたり、神様の栄光を表していないことなど発見し理解することができました。

たくさんの恵み、祝福、奇跡などを見ることが出来た沖縄旅行でしたが、ハイライトとして、信仰を表現することを体験し、周りの兄弟姉妹を励ますことができました。



このスクーターは私の沖縄での足でしたが、3度天気が豹変し、あやうくずぶぬれになるところを、イエス様が嵐を静めたように祈りと権威をもって雨を止めることができました。

一度目は弟と昼食をとった後、スクーターで教会に向かうとき、弟が「姉ちゃん、雨が降りそうだよ、バイクで大丈夫かな」と言ったので「大丈夫、祈っていくから雨は教会に着くまで降らないよ」と言ったものの雨がぽつぽつと降り始めたので、「雨よ、今は降るな、教会にぬれずに着くように」と祈ると、祈りは聞かれ、教会に着くまでの20分間は雨は降りませんでした。

そのあと大雨になり教会でクリスチャン夫婦と交わりの時を持っていました。このご夫婦と教会で交わりをした後、大雨が降っていたので、奥さんが、ご主人に車を屋根のあるところまで持ってきてと頼んだのを聞いて、「祈って雨を止めたらいいじゃない。そのために神様は私たちに権威を下さったのだから」というと、ご主人が祈り、車をとりにいくと、たちまち雨はやんでいました。2度目は教会のキャンプ場で子供たちと一緒に海で泳いでいた時、雨雲が見る見るうちに近くなり、波が高くなったので、2人の牧師先生に「あと少し子供たちと泳ぎたいので、イエス様がしたように、波が高くないように、祈って下さい」とお願いし祈ると、波は静まり、子供たちも海で楽しむことが出来ました。そして最後は姉妹との食事のあと車で送ってもらうと、突然大雨に襲われました。車の中で姉妹は「和香子さん、濡れてしまいますねえ。」と言われたので「いいえ、祈るとやみますから大丈夫です」と伝え、祈ると、5分後、家の前で車が止まる時にはしっかき雨はやんでいました。

これはすべて神様の御業で、決して私が祈ったから雨がやんだのではなく、祈りは聞かれると信じ、またすべてのものに対してクリスチャンは権威を与えられていることを知っていたので、それを使ったことで、聞かれた神の御業です。

これらを共に体験した兄弟姉妹がこれから、どんどん神様の子供としての特権を日々の生活の中で実践することによってますます信仰が強くなることと、ノンクリスチャンに天と地とを造られた私たちの神様を紹介することが出来たらと願っています。

私の母教会は**那覇バプテスト教会**といって宣教120周年になります。とても大きな教会で会員数約1000名。主任牧師の国吉守氏をはじめ、他に、5人の牧師、また多くの伝道師を無牧教会へ送っています。私はここで小学校から育ち現在に至ります。毎週日曜は家族礼拝、中高生礼拝、子供礼拝と第一、第二礼拝とがあります。水曜の祈禱会は朝、昼、晩と3回、朝禱会が月曜から土曜まで午前5:45分から始まります。感謝なことに、6年ぶりに戻ってきて、変わらない顔ぶれが多く揃い、また家族が増え、ますます神様につながっているのを目で見ることができました。感謝です。**父の日の礼拝には証しをする機会があり**、アメリカでの私の現在の状況、生活について神様がどのように私を愛しておられるかを話すことが出来ました。



那覇バプテスト教会ファミリーキャンプでの礼拝の様子
小中学生

「つながっていこう！」のテーマのもと、神様から決して離れず、つながって実を結んでいこうという決心をしました。



ご婦人の祈りにより20年求道の後、教会のキャンプ場でバプテスマを受けた片桐さん。朝の6時半です。

多くの分級のなかに、英語で聖書を学びたいという有志の集まるクラスがあり、私はそこで、毎週セカンドレベルの英語版を通して、**弟子訓練を導きながら、那覇教会の皆様の信仰生活を知ることができました。**

セカンドレベルを通して訪ねた **KBF Okinawa (神戸バイブルフェローシップ沖縄)** では、日本語での弟子訓練をステップの7まで終えることができました。今後の願いにあたり、ぜひスカイプを通しての合同訓練、交わりなどが出来たら、続けてお互いに励まし合い、なぐさめられるなあとと思っています。お祈り下さい。



KBF(神戸聖書フェローシップ)のみなさんと。毎週日曜の午後集まり、セカンドレベルのテキストを通して弟子訓練、交わりと賛美、そして祈りと楽しい時間を過ごすことができました。彼らの働きがますます沖縄で祝福されますように。

みなさんのお祈りと金銭的なサポート、感謝します。

一人一人の祈りがなければ、偶像がはびこっている沖縄で霊の戦いに、祈りと御言葉をもって立ち向かうことは出来ませんでした。心から感謝致します。

現在、これから主が私をどのように導いているかを祈り静かに待ち望んでいます。自分の知識や知恵、過去の体験などによって決断するのではなく、御霊に導かれて歩むため、ますます神様に近づいていきたいと願っています。もし主が沖縄へ再び送られるのであれば、喜んでいきたいです。個人的には親、兄弟、多くのサポートもある沖縄に永住したい思いも多々ありますが、主の思いは私の思いとは異なると箴言にあるように、まちがった選択をしないように、祈っています。子供たちも2ヵ月半みないうちに大きくなって、主はやはり神の子供たちを養って下さると実感しました。

今アトランタに戻った現実では仕事を探しているのですが、収入がなく、たくさんの不安や恐れが日々襲ってきますが、御言葉を蓄え、祈り御心がかなうようにと待ち望んでいます。わたしは1羽のすずめよりも価値ある存在なので、必ず天のおとうさんが私の必要を満たして下さいと信じています。

是非、心をひとつに合わせて、日本のなかから、偶像礼拝をなくすことと、天地を造られたお父様を紹介できるように、祈っていきましょう。

「私が主である。他にはいない。
わたしのほかに神はいない。
あなたは私を知らないが、
わたしは、あなたに力を帯びさせる。」

イザヤ45：5

今後の祈禱課題

- 1：キリストの体である那覇バプテスト教会、また KBF Okinawa の上に、主の豊かな祝福があり、教会として成長して行くように。
- 2：沖縄でも弟子訓練&弟子つくりの理解と輪が広がって行くように。
- 3：今回の宣教旅行で蒔かれた種が、主によって成長させられるように。
- 4：私（和香子）の今後の仕事のために。主の導きを悟り、従って行く事ができるように。

今後、セカンドレベルを通して、弟子造りの目的を持って宣教旅行に参加されたい方は、お気軽にご相談下さい。

dainidankai@secondlevel.lorg

セカンドレベル・ミニストリー
～実を結び続けるクリスチャンとなるために～

www.secondlevel.org